

## 高受診率の市町村での取組事例など

平成 27 年 10 月 21 日 医療給付班

各年度の健康診査検討会の実施結果等から作成

## ◎高受診率の例

## ○ 寿都町（平成 24 年度健診検討会実施）の例

- ・ 町立診療所の医師に個別健診の実施について働きかけ  
→ 診療所で独自に行っていた健診（誕生日健診）を後期高齢者健康診査に振り替えてもらう。
- ・ 町内にある民間医院にも働きかけを行い個別健診の実施をお願いした。  
平成 24 年度 14.75% → 平成 25 年度 46.15%
- ・ 平成 26 年度からは受診券の個別送付を開始  
平成 26 年度 56.59%

## ○ 健診受診率の高い市町村に見られる取組や特徴

- ・ 後期高齢者の健診が地元に着している（特定健診から継続して受診）。
- ・ 住民周知の徹底
  - － 個別通知（健診案内、健診申込書、受診券）の送付
  - － ケーブルテレビを活用した健診の周知
  - － 高齢者の見守りで保健師が家庭訪問をするときに健診受診の呼びかけを行う。
- ・ 地区組織の活用
  - － 地域の保健委員の協力により申込書の配布、回収をしている。
  - － 老人クラブ、介護予防教室などに保健師が出向き健診の受診勧奨を行う。
- ・ 地元の医療機関との連携
  - － 診療で訪れた患者への健診受診の勧奨するなど

## ◎受診率の低い市町村の特徴

- ・ 担当職員の不足で後期高齢者の健診までは手が回らない。
- ・ 特定健診の対象者には受診勧奨をしているが、後期対象者には広報誌への案内の掲載のみにとどめている。
- ・ 治療中の被保険者については健診を積極的に勧めていない。